

平成 29 年度 練馬区障害者施策の予算と主な事業について

1 平成 29 年度予算の内訳 () は前年度比

一般会計 (練馬区全体の予算)	2,514 億 7,723 万円 (-3.3%)						
保健福祉費 (生活保護や高齢者・障害者施策、健康づくり等の経費)	777 億 2,207 万円 (-4.6%)						
<p>平成29年度 一般会計予算に対する 障害者施策予算の割合</p> <p>障害者施策予算 205億 137万円 8.2%</p> <p>一般会計 2,514億 7,723万 円</p>	<p>障害者施策予算 205 億 137 万円 (+3.4%)</p> <table border="1"> <tr> <td>保健福祉総務費</td> <td>5,345 万円 (-6.8%)</td> </tr> <tr> <td>障害者福祉費</td> <td>174 億 9,440 万円 (+3.5%)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉施設費</td> <td>29 億 5,352 万円 (+3.0%)</td> </tr> </table>	保健福祉総務費	5,345 万円 (-6.8%)	障害者福祉費	174 億 9,440 万円 (+3.5%)	社会福祉施設費	29 億 5,352 万円 (+3.0%)
保健福祉総務費	5,345 万円 (-6.8%)						
障害者福祉費	174 億 9,440 万円 (+3.5%)						
社会福祉施設費	29 億 5,352 万円 (+3.0%)						

※ 保健福祉総務費および社会福祉施設費は、障害施策推進課および障害者サービス調整担当課分の予算額の合計。

【障害者施策予算増減額の主な理由】

保健福祉総務費 → 障害者福祉のしおり策定費の減（隔年発行のため）

障害者福祉費 → 介護給付費および訓練等給付費の増
 障害児支援給付費の増
 移動支援費の増
 重度障害者グループホーム運営費補助金の増

社会福祉施設費 → 光が丘福祉園空調設備改修工事費の増
 関町福祉園のエレベーター改修工事費の増

2 主な事業について

(1) 医療的ケアが必要な子どもに対応した児童発達支援事業所を誘致 102千円

心身障害者福祉センターの一部スペースを活用し、児童発達支援事業所を誘致し、医療的ケアが必要な未就学の重症心身障害児等に早期から必要な療育を実施します。長時間の療育を提供することで、就労を希望する保護者を支援します。

(2) グループホームの整備を促進 25,087千円

- ① 医療的ケアが必要な重度障害者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、看護師等の職員を配置したグループホームへ人件費を補助します。
- ② 中軽度障害者のグループホームの整備費補助を継続します。

(3) 5駅のホームに内報線付き点状ブロックを整備 32,904千円

区内には、ホームドアやホームの内側と外側が判別できる内方線付き点状ブロックが整備されていない駅が5駅あります。鉄道事業者による内方線付き点状ブロックの整備に対して補助し、区内全ての駅における転落防止対策を実施します。

(4) コミュニケーション支援機器経費 1,986千円

音声言語によるコミュニケーションが困難な聴覚障害等の方へ、必要かつ適正に情報提供するために、端末に音声言語をすぐに文字化できるアプリケーションが使えるタブレット端末を福祉部内6箇所に配置します。

(5) (仮称)ユニバーサル・フェスティバル開催

練馬の子どもたちを中心に、障害や国籍、年齢差を越えた「ユニバーサルオーケストラ」を編成し、誰もが楽しめるコンサートを開催します。また、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に参加できる「ユニバーサルスポーツフェスティバル」など、複数のイベントを12月に開催します。

(主な事業)

- ユニバーサルスポーツフェスティバル 3,640千円
- ユニバーサルオーケストラコンサート 3,000千円
- 障害者ふれあい作品展
- 練馬ねりあるキラリー